

# きずなの郷

第78号  
2025 秋

発行 社会福祉法人 厚生協会

令和7年9月1日

## 【わかふじ寮】



▲デフバス選手と一緒に!!



▲盆踊りに乾杯～

7月26日(土) 第40回ふれあい盆踊りを開催予定でしたが、開催日の数日前から猛暑が続いており、利用者の体調を考慮し、外での開催は中止し、各施設内での開催となりました。

## 【養護やすらぎ荘】



▲華麗に着こなして浴衣美人♡



▲力強い和太鼓の演奏でした!

等、皆さん思い思いにお祭りを楽しまれました。  
わかふじ寮では地域交流ホムにおいて、デフリンピックの強化合宿の為に新得町に來ていたデフバスケット女子日本代表の方々と交流し、ミニ樽を囲んでの盆踊り踊りや記念撮影などをしている思い出にお祭りを楽しまれました。  
やすらぎ荘・新得やすらぎ荘とひまわり荘にはハワイアンフラ「ホ・アロハ」の皆さんが、来荘され、「真つ赤な太陽」など、3曲の踊りを披露してくれました。利用者も職員も一緒にフラダンスを踊り、暑い夏がさらに熱くなっていました。

## ふれあい盆踊り

、猛暑のため、各施設内で盆踊りを開催、

## 【特養・地域新得やすらぎ荘】



▲焼き鳥や焼きそばに舌鼓♪



▲華麗なフラダンス

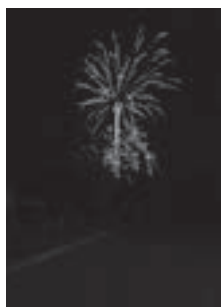
## 【ひまわり荘】



▲スマートボールに夢中



▲みんなで盆踊り♪



▲天候にも恵まれ、きれいな花火でした



▲迫力、満点!



▲花火に夢中

**法人花火大会**  
「花火を見ながら夕涼み」  
7月29日に新得中学校から約200発、8月5日には屈足公園から花火の打ち上げを行いました。間近で見る花火に利用者の皆さんは「きれいだね」、「迫力があるね」と喜び、2日間行った花火大会は、それぞれ夏の夜空をきれいに彩っていました。

## 法人本部及び各施設・事業所の事業報告

### ■法人本部

令和6年度は報酬改定の年にあたり、生産性の向上や科学的介護を推進し、働きやすい職場づくりを進めること、また質の高いサービスの提供を評価するといった流れが明確となった。

障害の分野では障害者の意思を尊重し、支援の質を向上させることが盛り込まれ、社会変化の中でも障害者が安心して生活できる環境整備や地域づくりに向けた取り組みの実施が示されたこともあり、各事業所において体制の整備や、現状の把握と今後の課題について整理する年となった。

法人運営に関しては、各事業所における収益の推移などに基づき、富士道公認会計事務所からのご意見を頂きながら前年度の状況と比較する等の経営分析を図ったが、定員の充足不足や稼働率の低下、利用者の長期入院などの影響もあり、大幅に減益となった。

このような状況の中、法人全体で物価高騰による影響も見られる中、経費削減に取り組むと共に、利用者サービスの向上と運営の安定に向け事業計画に基づき以下の事業を実施した。

理事会開催（6回）、監事監査（4回）、評議員会開催（2回）、顧問契約（松浦弁護士）、監査契約（富士道公認会計士）、事業活動支援業務準委任契約（一柳社会保険労務士）、本部各専門委員会（管理部、施設・在宅事業部、研修部）、地域における公益的な取組。

### ■わかふじ寮・第2わかふじ寮・わかふじワークセンター

利用者への支援については、個別支援計画に基づき、支援状況に合わせて定期的な見直しを行いながら実施した。

利用者の高齢化や障害の重度化への対応については、ケース会議などで作業面、生活面の状況を確認し、現状に合った支援が提供できるように対応した。

定員充足に向けた取り組みについては、高等支援学校等と連携を図り、体験実習の受け入れ、道内の実施機関への訪問や相談支援事業所等からの情報収集を行うなど新規利用に向けての取り組みを図った。

新得高等支援学校との連携については、年間を通して現場実習、校外作業学習の受け入れの協力を行った。又、木育推進事業の誕生祝い品贈呈でも連携を図った。

虐待防止については、虐待防止・身体拘束適正化委員会を定期的に開催し、研修会の実施やケース会議や個別支援推進委員会とも連携を図り、困難事案に対する支援方法などの検討を図り、職員への支援方法の周知徹底を図った。

新型コロナウイルス感染対策については、基本的な感染対策を遵守し感染予防に努めたが、8月に施設内で感染拡大（クラスター）となり隔離対応などの感染対策を行った。

施設整備については居住棟内にエアコンの設置工事を行った。

#### ①介護・生活支援部門

個別面談は相談があった場合に随時対応した。ケース会議についても定期的に開催し、利用者に対する支援内容を検討、変更内容については職員に周知を図り、対応の徹底を図った。またモニタリングについても定期的に実施した。

#### ②看護部門

新型コロナウイルス感染症については、法人の感染症会議の決定事項に基づき、引き続き対策を継続した。8月20日に入所利用者のコロナ感染が判明し、その後、感染が拡大し、8月28日には感染者が10名となりクラスターとなった。最終的には入所利用者11名、通所利用者4名、職員2名、計17名の感染となった。感染終息には15日間を要した。（9月3日終息）12月13日に新型コロナウイルスワクチン接種を実施した（65歳以上47名、65歳未満基礎疾患を有する利用者3名、65歳以上の職員8名、合計58名）インフルエンザ予防接種については、10月23日に実施した。

ノロウイルスへの対応に関しては1月に職員の同居する家族の感染が判明し、5日間の出勤停止と出勤後の感染予防対策として、しばらくの間マスクとグローブ着用での対応を行った。ワクチン接種は7月21日（利用者・職員）、12月8日（職員）1月26日（利用者）に実施した。

#### ③授産事業部門

事業全体として売上目標を達成する事は出来た。特に木工部門（家具・建具）においては大口受注が複数件あったことにより近年にない売上額となったが、ベッドフード部門においては一部取引先からの製造調整依頼があったことで大幅な減となる結果となった。

利用者の高齢化・重度化に対する取り組みとしては、作業環境の改善、作業場の変更などを行なう事で対応を行なった。

今後も安定した生産に繋がる作業内容や工程等の見直しと事業全体の連携に努めると共に、状況に合わせた各事業における職員・利用者の配置見直しに取り組んでいく。

### ■わかふじ寮相談支援事業所

新型コロナウイルスが5類型に移行したが、施設における感染対応には変わらないことから対面での面会は自粛し、事業所よりご本人の状況などの情報収集を行い、ご本人の意向や希望、要望を確認しながら必要と思われる事柄について助言を行った。

また、サービス等利用計画案の作成については利用者の状況や事業所での支援状況を基に見直しを行った。

### ■共同生活援助事業所 さくら

利用者への支援については、個別支援計画に基づき地域で落ち着いて生活ができる様に、「地域生活上のルール」や身の周りの事など自立した生活を送る事ができる様に支援を行った。食生活については家庭的な食事を提供する事を基本とし、利用者の嗜好や季節に合った献立で提供できる様に対応した。

新型コロナウイルス感染対策については、マスクの着用や手指消毒など基本的な対応の徹底を図った。

### ■新得白生舎

令和6年度新得白生舎は運営方針として利用者への効率的作業の提供と適材適所の配置による所得向上を目標に取り組んできた。利用者工賃としては昨年度より4％程度増額支給することができ、労務費全体を見ても昨年同様の水準を確保することができた。これは授産目標としていた洗濯方法の改善や光熱水費の節約など全員が一丸となって継続的に取り組んだ結果と思われる。また授産作業においても利用者個々の能力を最大限に引き伸ばすことによりひとり一人に自信が生まれ、「責任を持った仕事」として取組み、生産性の向上へと結びついたことも大きな要因となった。

利用者については上半期19名、下半期18名（退所2名）でクリーニング事業を実施した。専門技術者が高齢のため後継者の発掘が近々の課題となっていたが、候補者の採用には至っておらず継続的な課題として残ってしまった。事業収入は44,809,351円となり、前年度対比で約6％の増収となった。（令和5年度42,124,857円）

### ■聴覚障害者養護老人ホーム やすらぎ荘

老人福祉法及び関係法令並びに各種通知に基づき、利用者の自立支援のためのソーシャルワーク機能を強化し、利用者の生活意欲の増進等を図り、生きがいを持ち健康で安らかな生活ができるよう努めた。

個別型として、利用者一人ひとりの心身状態を考慮しニーズに応じた介護保険サービスの提供に努めた。

「手話の普及と聴覚障害者養護老人ホームとしての役割については、町内学校手話授業に職員を派遣した。

家族や各関係機関と連携を図り、利用者の多様性に沿った伴走型の支援に努めた。また、新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行し2年目となり、感染予防対策を講じたうえで徐々に社会参加も図れた。

町と連携し緊急性が高い方の受け入れを行った。合わせて契約入所についても研修等参加し検討を進めた。

介護報酬改定に合わせ変更となった運営基準については必要な対応を行った。

※個別型とは、利用者と介護保険サービス事業者が個別契約を結び介護サービスを受けるもの。

#### ①介護・生活支援部門

個別型として効率的なサービスを提供した。また、毎月支援員ミーティングやケア検討会議を開催し、サービスの適正を図った。

#### ②看護部門

嘱託医や各関係機関からの情報を基に動向把握に努めた。また、法人で定めた新型コロナウイルス感染症に係る対応を実施した。クラスターの発生はなかった。

### ■特別養護老人ホーム 新得やすらぎ荘

令和6年度も新型コロナウイルス感染症のクラスターが6月に発生し、感染対策を行った。

感染予防対策により家族との交流行事ができず写真の送付や来荘時に近況報告を行い、また、新型コロナウイルス感染症5類移行後は、養護・特養・地域の合同行事等も行った。

職員研修については、WEB研修を活用し全職員に共有できるように行った。

短期入所については、特養の空床を利用し可能な範囲で受け入れた。

#### ①介護・生活支援部門

利用者や家族の意向を計画に取り入れ、状態に合わせて計画を変更し、各利用者のニーズや状態に合った個別支援計画の作成に取り組んだ。

#### ②看護部門

地域の感染状況に合わせ感染症対策委員会を開き、感染症予防に努めていたが、6月1日から17日に施設内で新型コロナによるクラスターが発生し、その対応に努めた。

## ■地域密着型特別養護老人ホーム 新得やすらぎ荘

新型コロナウイルス感染症5類移行後も感染症対策取り組んだ。また、6月に介護職員の退職で勤務体制を維持できない状況となり、法人内の事業所から職員の応援を受けて対応した。

利用待機者の減少と新規利用者の受け入れに、時間を要し満床にならず大幅な減収となった。

### ①介護・生活支援部門

ユニットでの少人数のケアを実践し、モニタリングを実施、適宜ケアプランを見直しケアプランに基づいたサービスの提供に努めた。

### ②看護部門

適宜状態観察とバイタルチェックを行い、バイタルリンクを活用し医師と看護師の連携を強化した。必要時に医療機関の受診対応を行った。

## ■訪問介護事業所 新得やすらぎ荘

### ①高齢者訪問介護事業

利用者の望む在宅生活が出来るように必要な援助を相談し、利用者が利用しやすい訪問事業所となるように努めた。さらに自立支援・介護予防の視点で日々の介護サービスを行う事が出来た。

また、新規の利用希望に対し人材不足によってサービスを提供できなかった経過があり、採用募集を行ったが新たな採用には至らなかった。また、業務継続計画を策定し訓練や研修を実施した。

### ②障害居宅介護事業

利用者が居宅において日常生活を継続できるよう、自立支援の視点を持ちつつも利用者本位のサービスに努め、本人だけではなくその家族や環境も利用者が明るく生活できる一因と捉えてサービス提供に努めた。

## ■居宅介護支援事業所 新得やすらぎ荘

利用者の自立支援と状態悪化防止のために、利用者・家族の意向を尊重しながら、ケアマネジメントを行い、居宅サービス計画（ケアプラン）の作成、各サービス事業所との連携を図り、利用者にとって適切なサービスが提供されるよう調整を行った。

以前から災害発生時の地域包括支援センター及び町内居宅介護支援事業所と連携は行われていたが、共通のBCP（業務継続計画）策定により『連携協定書』締結に至り、地域連携の共通化を図ることができた。

新得町（地域包括支援センター）からの新規依頼は断ることなく、全てのケースを受け入れるとともに、地域貢献事業として実施した『介護ガイドブック出前講座』を入口にデイサービスの事業所見学会を開催し、新規利用者の確保に繋ぐことができた。

また、令和7年3月下旬に新得クリニック閉院に伴い、当事業所で担当している30名弱の利用者が、通所リハビリ廃止の影響を強く受けたが、法人内事業所（デイ）の協力を得ることで、代替サービスとして利用継続に繋ぐことができた。

## ■日帰りサービスセンター やすらぎ荘

利用者が可能な限り居宅において自立した日常生活を継続できるよう、入浴および食事の提供、利用者が選択することのできる余暇活動の実施や生活動作に関連する機能訓練を実施した。

また、健康状態の確認やその他の必要な日常生活の支援を行い、利用者の健康で安定した自宅での生活の助長、社会的孤立の解消、心身機能の維持向上等を図るとともに、利用者家族の身体的・精神的負担の軽減を図った。

利用者の定着や新規利用者獲得につなげるため。楽しみながら運動できる活動や日常生活訓練、脳トレーニング等のサービスの充実を図った。

## ■清水デイサービスセンター やすらぎ荘

地域での生活が継続できるよう身体機能訓練や日常生活動作訓練など総合的な支援を行った。また生活状況や家族関係を踏まえながら理学療法士や他職種が共同して策定したりハビリ計画に基づき、適切なサービス提供を行うことができた。

しかし、入院や施設入所等による利用終了者が年間18名となり、新規利用開始者9名を大きく上回った。利用者が高齢化（平均年齢85歳）する中で、新規利用者をどう確保していくか課題として残った。

## ■日帰りサービスセンターやすらぎ荘 たんぽぽ

自立した日常生活を営むことができるよう、生活などに関する相談及び助言、健康状態の確認その他必要な日常生活上の支援、機能訓練などのサービス提供を行った。

生活リハビリとしては、歩行や段差昇降、衣服着脱、排泄等日常生活動作そのものをリハビリとしてとらえ、本人が有する能力に応じて適切な支援を行うことで能力の維持に努めた。

他事業所と情報共有し新たなレクリエーションを取り入れた。

介護報酬改定を踏まえ適切な事業運営に努めた。

## ■屈足わかふじ園

法人の基本理念及び職員倫理綱領、行動規範を遵守、利用者の自立と人権の尊重を基本に、サービスの充実を図るように努めた。

利用者への支援については、意思決定を尊重した個別支援計画に基づき、利用者個々のニーズに応じた支援を実施し、定期的にモニタリングを行う事で支援内容の見直しや確認を行った。

人材確保については、帯広大谷短期大学の現場実習の受け入れの過程と、実習後に同校を卒業した職員が中心となり、採用活動にも取り組んだことで新卒採用に繋げることができた。

行事については、食事を伴う行事は利用者職員のみとし、食事を伴わない一部の行事に関してはご家族にもご案内するなど、感染対策なども念頭に置き可能な範囲で実施した。

新型コロナウイルス感染症については、2月6日に利用者に感染が判明し、その後、利用者22名、職員2名に感染が広がった。ゾーニング対応及び各種感染対応を行い3月10日に収束した。

施設整備においては、中長期計画に基づき、施設内にWi-Fi環境の整備を行った。また国庫補助金を主財源として移乗用サポートロボット「Hu g」を導入し、介護業務の負担軽減を図った。

### ①施設入所・生活介護

適宜モニタリング会議を開催し、計画の修正と見直しを行ってきた。支援計画の内容が確認しやすいように工夫し、日々の介護に反映するよう努めた。

### ②医療部門

年間を通して標準感染予防策を実施していたが、2月に約1ヶ月間、新型コロナクラスターが発生したことを受けて、正しい対策が行える様、予防策を見直した。

## ■養護老人ホーム ひまわり荘

老人福祉法、介護保険法及び関係法令を遵守し、利用者の主体性と自立支援に配慮した支援と介護サービスの提供に努めた。また個別支援計画書や介護サービス計画書の作成とモニタリングを定期的に実施し、必要時には関係機関や医療機関との連携を図り、より充実したサービスを提供するように努めた。

新型コロナウイルス感染症まん延防止のため、利用者の意向に沿った十分な社会参加や地域交流等は出来なかったが、ご家族を参集した行事の実施やクラブ活動の内容を工夫し、可能な範囲で余暇活動の充実を図った。

感染症対策として日常の健康管理と施設内の消毒、手指衛生等を徹底し、必要な各種ワクチン接種を実施した。

サービスの質のさらなる向上や安定的な事業経営に向けて特定施設入居者生活介護事業所の体系を7月1日より外部サービス利用型から一般型へ移行し、適宜介護業務等の変更を行い、問題等は生じなかった。

### ①介護・生活支援部門

利用者とのコミュニケーションを図り、情報を集約し、統一した介護サービスを提供出来るように努めた。

### ②看護部門

毎日の体調確認、状態観察を実施し、体調不良時は嘱託医へ報告と受診に対応した。また嘱託医の指示に沿って、専門医へ受診した。

## 決 算 報 告

令和7年3月31日

財 産 目 録

(単位：円)

| 資産の部        |     |               |
|-------------|-----|---------------|
| 科 目         | 摘 要 | 金 額           |
| 流 動 資 産     |     | 1,045,104,722 |
| 固 定 資 産     |     | 4,777,593,630 |
| 資 産 合 計     |     | 5,822,698,352 |
| 負債の部        |     |               |
| 科 目         | 摘 要 | 金 額           |
| 流 動 負 債     |     | 163,349,262   |
| 固 定 負 債     |     | 299,348,555   |
| 負 債 合 計     |     | 462,697,817   |
| 差 引 正 味 資 産 |     | 5,360,000,535 |

## 貸 借 対 照 表

| 資 産 の 部 |               | 負 債 の 部     |               |
|---------|---------------|-------------|---------------|
| 科 目     | 金 額           | 科 目         | 金 額           |
| 流動資産    | 1,045,104,722 | 流動負債        | 163,349,262   |
| 固定資産    | 4,777,593,630 | 固定負債        | 299,348,555   |
|         |               | 基本金         | 14,500,000    |
|         |               | 国庫補助金等特別積立金 | 2,715,754,294 |
|         |               | その他の積立金     | 796,647,900   |
|         |               | 次期繰越活動収支差額  | 1,833,098,341 |
| 資産合計    | 5,822,698,352 | 負債純資産合計     | 5,822,698,352 |

## 事 業 活 動 収 支 計 算 書

| 科 目            | 金 額           |
|----------------|---------------|
| 介護保険事業収益       | 507,925,692   |
| 老人福祉事業収益       | 292,938,590   |
| 就労支援事業収益       | 216,743,708   |
| 障害福祉サービス等事業収益  | 735,068,555   |
| 生活保護事業収益       | 72,713,121    |
| その他の事業収益       | 25,446,105    |
| 経常経費寄附金収益      | 9,654,100     |
| その他の収益         | 670,000       |
| 受取利息配当金収益      | 706,430       |
| その他のサービス活動外収益  | 11,022,114    |
| 固定資産受贈額        | 117,963       |
| 固定資産売却益        | 150,000       |
| 収入合計           | 1,873,156,378 |
| 人件費            | 1,066,994,570 |
| 事業費            | 295,851,471   |
| 事務費            | 228,899,980   |
| 就労支援事業費用       | 196,559,965   |
| 授産事業費用         | 40,292,754    |
| 利用者負担軽減額       | 1,554,112     |
| 減価償却費          | 138,152,007   |
| 国庫補助金等特別積立金取崩額 | △ 90,443,815  |
| 徴収不能額          | 39,875        |
| 徴収不能引当金繰入      | 840,000       |
| 支払利息           | 516,876       |
| その他のサービス活動外費用  | 520,000       |
| 固定資産売却損・処分損    | 3             |
| 国庫補助金等特別積立金積立額 | 660,000       |
| 支出合計           | 1,880,437,798 |
| 当期活動増減差額       | △ 7,281,420   |
| 前期繰越活動収支差額     | 1,841,379,761 |
| その他の積立金取崩額     | 10,000,000    |
| その他の積立金積立額     | 11,000,000    |
| 次期繰越活動増減差額     | 1,833,098,341 |

## 資 金 収 支 計 算 書

| 科 目              | 金 額           |
|------------------|---------------|
| 介護保険事業収入         | 507,925,692   |
| 老人福祉事業収入         | 292,938,590   |
| 就労支援事業収入         | 216,743,708   |
| 障害福祉サービス等事業収入    | 735,068,555   |
| 生活保護事業収入         | 72,713,121    |
| その他の事業収入         | 25,446,105    |
| 経常経費寄附金収入        | 9,654,100     |
| 受取利息配当金収入        | 706,430       |
| その他の収入           | 11,022,114    |
| 固定資産売却収入         | 150,000       |
| 積立資産取崩収入         | 10,000,000    |
| 拠点区分間長期借入金収入     | 7,000,000     |
| 拠点区分間繰入金収入       | 91,526,491    |
| 収入合計             | 1,980,894,906 |
| 人件費支出            | 1,065,439,570 |
| 事業費支出            | 295,851,471   |
| 事務費支出            | 228,899,980   |
| 就労支援事業支出         | 185,754,760   |
| 授産事業支出           | 40,315,484    |
| 利用者負担軽減額         | 1,554,112     |
| 支払利息支出           | 516,876       |
| 流動資産評価損等による資金減少額 | 39,875        |
| 設備資金借入金元金償還支出    | 9,948,000     |
| 固定資産取得支出         | 17,157,914    |
| ファイナンスリース債務の返済支出 | 1,205,712     |
| 積立資産支出           | 11,000,000    |
| 拠点区分間長期貸付金支出     | 7,000,000     |
| 拠点区分間繰入金支出       | 91,526,491    |
| その他の活動による支出      | 570,000       |
| 支出合計             | 1,956,780,245 |
| 当期資金収支差額         | 24,114,661    |
| 前期末支払資金残高        | 883,483,300   |
| 当期末支払資金残高        | 907,597,961   |

## 法人全体研修

～全国身体障害者施設協議会の歩みと虐待防止～

7月1日、法人の全職員を対象に虐待防止について、社会福祉法人ゆうかり学園理事長の日野博愛様をお招きして、法人全体研修を開催しました。研修では、全国身体障害者施設協議会で12年間会長を務めていた経験から、虐待防止を踏まえた風通しの良い職場・組織づくりのためのビジョンの作成、またラグビー憲章から人として、仕事をする上での基本的な姿勢について講義いただきました。

昨今、虐待に関するニュースが取り上げられています。虐待を『しない・させない・許さない』環境・組織づくりが一層求められています。当法人の理事長の言葉にもある、『目配り・気配り・心配り・手配り』の視点に返り、より質の高いサービス提供のために何が必要か考え直す機会となりました。



▲約80名の職員が参加

## 地域貢献活動

～ゴミ拾いと美化活動～

厚生協会では地域貢献活動の一環としてSDGsの取り組みでもある新得駅周辺や拓鉄公園や屈足公園、コスモスタンドからかえで団地までの坂道、西1線通りと踏切までの道路のゴミ拾いと国道の花壇の植栽や屈足本通りのプランターの設置や美化活動を行っております。

【ひまわり荘】



▲新得町をきれいに…

【やすらぎ荘・新得やすらぎ荘】



▲ゴミのポイ捨ては禁止！

【屈足わかふじ園】



▲プランターの設置と歩道の草取り

【わかふじ寮】



▲バランスよく配置！

## 法人交通安全大会

～事故・違反はしません～

6月3日に法人交通安全大会をわかふじ寮の地域交流ホームで行いました。今年度は新得警察署の渡部地域交通課長様から、最新の交通情報などを講話いただきました。

厚生協会では職員の交通安全の取り組みとして、毎年セーフティラリーに参加しています。施設ごとに5人チームでエントリーし交通安全大会で結果を発表しており、今回は、昨年度セーフティラリーを完走した全ての施設が理事長より表彰を受けました。

最後に、研修出席者全員で「交通安全宣言」を唱和し、職員一同が交通事故の防止を誓いました。



▲新得警察署 渡部地域交通課長様に  
よる講話



▲理事長よりセーフティラリー完走賞を  
受けました

## 介護福祉士実務者養成研修開講

～資格取得に向けて～

今年度、介護福祉士実務者養成研修が6月7日から始まりました。

今年は法人内の各施設から11名が受講し、内4名は外国人介護職員です。受講生はこれから通信学習と対面授業を受け12月に修了する予定です。ミャンマーから来られた4名は修了後、2年後の介護福祉資格取得を目指します。

開講式の挨拶で理事長は「結束を高め、お互いを助け合いながら学習し、今研修修了後も仲間として協力しながら資格取得を目指してほしい」と激励し、受講生も令和7年度チームとして互いに協力する決意を固めていました。



▲開講にあたって理事長から挨拶



▲資格取得に向け決意新たに…

# ご家族に参加して頂き行事を開催 ~ご家族と一緒に楽しいね~

## わかふじ寮

### ふるさとの集い

5月10日、昨年に引き続き今年も利用者のご家族をご招待して「ふるさとの集い」を開催しました。

18家族30名のご家族に参加いただき、昼食のジンギスカンには山へ利用者と一緒にいった行者ニンニクも使ってたくさん食べていただきました。

また、母の日に合わせてご家族にお花をプレゼントしました。



◀花をプレゼント  
ありがと〜!



美味しく  
焼いてね▶

## 屈足わかふじ園

### 家族会交流会

屈足わかふじ園では6月7日の家族会総会前に「家族交流会」を行いました。利用者12名とそのご家族19名が参加し、2チームに分かれてすごろくゲームを行い、楽しいひと時を過ごしました。



▲すごろくゲーム、いい目が出るかな〜?



▲ご家族と一緒に楽しい時間を過ごしました

## ひまわり荘

### 家族との集い

ひまわり荘では6月28日に「家族との集い」を開催し、ご家族32名が参加してくれました。ドキドキボール運び等のレクリエーションを利用者とご家族が一緒に行いました。また今年度は新型コロナウイルスまん延防止のため、中止していた食事を再開し、ご家族の皆さんとゆっくり過ごして頂きました。



◀ボールを  
落とさない  
ように……



ご家族と  
一緒に昼食会▶

## 旅行行事 ~思い出がたくさん~

### わかふじ寮

6月~7月にかけて、7班に分かれて、研修旅行に出かけました。

日帰り旅行は買い物や動物園、ボーリング、ベアマウンテンへ行きました。

一泊旅行は釧路方面で阿寒温泉に宿泊しました。天気も良く、道中新しく出来た道の駅しらぬか恋問館で休憩し、お昼はジンギスカン、夕食はホテルのバイキングと大満足!!

翌日も阿寒湖の遊覧船に乗り「まりも」を見てきました。



▲天気も良く遊覧船、最高でした!!



▲狙いはストライク!

### 屈足わかふじ園

6月11日に道の駅しらぬか恋問館へ行き、新鮮な海の幸を堪能した他、白糠町在住のご家族と会われた方もおり、それぞれに楽しいひと時を過ごされました。

また、6月25日には札幌サンピアザ水族館へ行き、利用者の皆さんは様々な魚を見て楽しんでいました。

#### 道の駅しらぬか恋問館



▲白糠町在住のご家族と面会

#### 札幌サンピアザ水族館



▲いざ、水族館へ!

### ひまわり荘

ひまわり荘では6月19日、ナイタイ高原へ出かけました。到着後、ナイタイ牛のロコモコ丼を食べました。天気も良く最高の旅行日とでナイタイ高原から見る景色は感動的でした。



▼昼食はナイタイ牛のロコモコ丼



▲きれいな景色をバックに写真撮影

## わかふじ寮 自治会PG大会 ～天候に恵まれ、ナイスショット～

6月21日、前日まで雨が降っており開催が危ぶまれましたが、無事に自治会パークゴルフ大会を開催する事が出来ました。

パークゴルフとフロアカーリング、それぞれグループに分かれて優勝を目指し頑張りました。競技の後にはみんなでジンギスカンを食べて盛り上がりしました。



▲ナイスショット！  
結果はいかに…？



◀赤と黄、どっちが  
勝つか…？

やすらぎ荘・特養新得やすらぎ荘・地域新得やすらぎ荘・ひまわり荘

## 新得神社山開き ～新緑の中で神様にご挨拶～

5月21日、新得神社山で行われた「お山開き」に、ひまわり荘やすらぎ荘・特養・地域新得やすらぎ荘の利用者の皆さんが参加されました。当日は天候にも恵まれ、春の山の空気を感じながら皆さんで参拝や散策を楽しみました。地域の行事に触れることで、季節の移ろいを感じつつ良い気分転換となったと思います。

【特養新得やすらぎ荘】



◀石像の前で記念写真📷

【地域新得やすらぎ荘】



▲そっと手を合わせてお参り

【養護やすらぎ荘】



▲みんなで並んでハイ、チーズ！

【ひまわり荘】



▲お線香を立ててお参り

## 屈足わかふじ園

## One Man Digital Orchestra 佐藤春美オールスターズ演奏会 ～多種多様の楽器を演奏～

6月24日に、元自衛隊の佐藤春美さんによる通算12回目の演奏会を行いました。

佐藤さんは陸上自衛隊第5音楽隊のサクソ奏者としてご活躍をされておりましたが、定年を迎えられ退職後は、サクソ教室・作曲・レコーディング・CD作成などを業務とする「佐藤春美ミュージックプランニング」を設立し、ご活動されております。

今回の演奏会は、佐藤さんが昨年の11月から習い始めた和琴でオープニング曲を披露され、3種類のサクソなど多彩に楽器を操り、アニメの主題歌から演歌まで、利用者さんの世代に合わせた曲を演奏していただきました。また昨年同様に、サクソ教室に通う生徒さんと共奏されるなど、演奏会に花を添えていただきました。

来年も素敵な演奏をぜひよろしくお願いします。



▲迫力ある演奏に大盛り上がり！



▲素敵な演奏をありがとうございました！

## ひまわり荘

## 新得保育所交流会 ～かわいい子供たちに癒されて～

6月18日、新得保育所のぞう組、きりん組の子供たち32名が来荘され、利用者の皆さんと交流しました。運動会で行ったガンバリマンの歌とお遊戯の披露、幸せなら手を叩こうでは利用者さんと一緒に手遊びを行ってくれました。

元気いっぱいの子供たちとの交流に利用者の皆さんは「かわいいね」「癒されるわ」と自然と笑顔がこぼれていました。



▲かわいいお遊戯の披露



▲握手をしてお別れ

# ご寄付・ご寄贈ありがとうございました

令和7年3月から  
令和7年7月まで(敬称略)

## 【本部】

新得町 長野 功  
芽室町 横倉 良夫  
帯広市 後藤 幸雄  
白老町 福田 實  
山口県柳井市 金丸 尚記  
月形町 浜田 英之  
札幌市 植松 美由紀  
札幌市 松本 マリ子

## 【わかふじ寮】

新得町 山口 憲夫  
川崎 勉  
榎田村工業 道明  
清水 山本 洋  
鹿追町 日下 正光  
標茶町 大山 敏宏

## 【屈足わかふじ園】

新得町 橋場 カズ子  
千葉 照映  
平賀 良子  
松浦 久雄  
わたなべ歯科  
(有)小田天光堂  
清水町 中島 弘志  
しみず中央薬局  
音更町 小野 みゆき  
大倉 盛男  
内田 智子  
上林 朝子  
梅田 明吉  
幕別町 五十嵐 貴紀  
池田町 小川 義成  
浦幌町 林 幸子

## 帯広市

上富良野町  
札幌市

## 広島県

## 【ひまわり荘】

新得町 新得町役場婦人部  
新得町農業協同組合  
館内 弘美  
村田 幸枝  
斉藤 幸子  
平賀 良子  
しみず中央薬局  
大坂 清美  
相互電業株  
太田 明子  
織部 義雄  
札幌市 大和田 由美  
小川 竹志  
牧野 温志  
中田 明美  
佐藤 直史  
太田 志江  
清水町 清水町  
帯広市 帯広市  
札幌市 札幌市  
恵庭市 恵庭市  
東京都 東京都  
富山県 富山県

## 【やすらぎ荘】

新得町 上杉 勇雄  
清水町 大留 みより  
芽室町 三杉 康弘  
札幌市 杉坂 洋子  
松本 マリ子  
毛利 勇二  
岩崎 幸子  
富良野市 富良野市

洞爺湖町  
神奈川県

清水 徹子  
五月女 要

## 【新得やすらぎ荘】

新得町 小野 恭子  
中村 清吉  
斎藤 芳幸  
永野 かず  
平賀 良子  
坂東 健二  
齊藤 悦子  
わたなべ歯科  
三井 福源  
出口 卓子  
後藤 幸雄  
羽野 靖司  
菊地 博美  
富田 恵美子  
南 鉄也  
キングラン北海道株  
石狩市 近江 豊江  
札幌市 福士 博  
愛知県みよし市 會田 豊  
北九州市 前田 智子

## 【地域新得やすらぎ荘】

新得町 太田 泰子  
清水町 片平 秋子  
角島 茂  
角島 エミ子  
竹澤 孝一  
須藤 初枝  
高橋 和則  
本間 豊  
江別市 江別市  
石狩市 石狩市  
札幌市 札幌市  
栃木県小山市 栃木県小山市

社会福祉法人厚生協会では、法人の情報をホームページで公開しています。ご意見やご希望についても電話・Eメールで受け付けていますのでご利用ください。

## 厚生協会ホームページ

<https://www.wakafuji.or.jp>

## 厚生協会E-mailアドレス

wakafuji@netbeet.ne.jp (わかふじ寮)  
yasuragi@rainbow.ne.jp (やすらぎ荘)  
wakafuji@rose.ocn.ne.jp (屈足わかふじ園)  
himawari@bb.rainbow.ne.jp (ひまわり荘)  
ssh5209@khaki.plala.or.jp (新得白生舎)

この広報誌の中で使用させていただいている利用者の顔写真等は、すべてご本人の了承をいただき、掲載しています。

## 編集後記

お盆が過ぎ、段々と暑さが和らいでくるのかなと感じています。

今回の広報誌では家族をお呼びした行事、外出行事、地域の方との交流の記事が多くありました。新型コロナウイルス対応以前に戻りつつあるなと感じました。

これからも外出や家族との交流を大事にし、利用者の皆さんが楽しく生活できる施設作りに努めていきたいと思えます。

## セールのお知らせ

日頃より新得白生舎をご愛顧いただきまして誠にありがとうございます。

さて今年も秋のクリーニングセールを実施いたします。

日頃より皆様への感謝の気持ちを込めて30%引きの特別価格で実施させていただきます。期間は掲載のとおりです。混雑が予想されるため多少お時間をいただくことになるかもしれませんが、皆様のご来店を心よりお待ちしております。

## 秋のサービスセール

10月14日(火)～  
11月29日(土)まで

## クリーニング

通常価格より  
30% OFF

セール商品もセール価格です。ご来店の際は、お電話でご予約ください。

クリーニング部  
社会福祉法人 厚生協会 新得白生舎  
新得町西1条北1丁目 TEL: 64-5209  
営業時間: 9:00～17:00 (月～金)  
9:00～12:00 (土)  
定休日: 日曜日・祝日

集配も行います。お気軽にお申し付けください。